

ま  
な  
び  
人  
の  
週  
末

# 山梨 歴史めぐり旅



週末は  
山梨に  
います。



戦国のロマンに思いを馳せながら、歴史の道や伝説の地を巡ってみませんか。

名将の足跡は、数々の物語とともに、この地に刻まれています。

「風林火山」の軍旗をはためかせ、戦乱の世を駆け抜けた武田信玄。

# 武田信玄ゆかりの地を歩き 戦国ロマンの歴史を辿る。

## 戦国時代を駆け抜けた名将 武田信玄



甲斐国志 [南アルプス市立白根桃源美術館所蔵]

武田一族の祖は、源平の合戦で活躍した甲斐源氏。武田氏を全盛期へと導いた信玄は、大永元年(1521)年11月3日、積翠寺・要害城で父・信虎、母・大井夫人との間に生まれた。

天文10年(1541)、信虎を駿河に退隠させて自立した信玄は、甲州法度の制定、治水事業や金山開発、交通の整備など、領国経営に手腕を発揮するとともに、戦国最強と言われた武田軍団を率い、緻密な外交政策によって勢力を拡大していった。



甲斐軍鑑 [南アルプス市立白根桃源美術館所蔵]

生涯における合戦の数130余度。西上作戦の途中、病に倒れ、53歳でこの世を去った武田信玄は、戦国の世の名将、また文武両道の名君として、数々の逸話とともに、歴史の中にその名をとどめている。

## 謎につつまれた天才軍師 山本勘助



武田信玄の軍師として知られる山本勘助は、様々な伝説にもかかわらず、その経歴は謎に包まれている。「甲陽軍鑑」などによると、出身は三河(愛知県)。

若い頃から諸国をまわり、各大名の内政・軍政などを学んだという。運命の出会い、信玄23歳、勘助51歳の時。これ以後、軍師として数々の合戦を勝利に導いたほか、武田氏に築城術を伝え、高鳥城はじめ、信濃各地の築城にも関わったと伝えられる。

永禄4(1561)年、第4次川中島の戦いで討ち死。享年69歳。

武田二十四将図 [武田神社所蔵]



山本勘助肖像画 [惠林寺所蔵 信玄公宝物館 保管・展示]

# 軍事

## 戦国最強といわれる 武田軍団の戦略。

戦国最強と言われる武田軍団の代名詞となっているのが「騎馬軍団」。だが、実際は常に馬に乗ったまま戦ったわけではなく、馬は輸送力や迅速に移動するための機動力として活躍したといわれる。この機動力を支えたのが軍用道路の「棒道」で、馬二頭が並んで走れる直線的な道路は、山地が多い甲斐・信濃でも大きな部隊をすばやく移動させることができた。

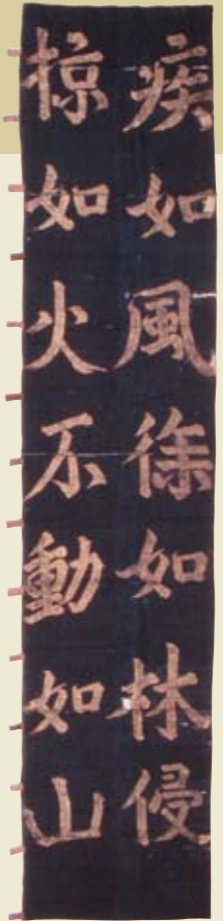
また、のろし台や関門など総合的な軍事施設の配置、軍事力を支える金山開発や戦いを有利に導くための作戦など、武田軍団は「総合力」において他に勝っていたといえる。



棒道(北杜市)



日の丸の御旗 [雲峰寺所蔵]



孫子の旗 [雲峰寺所蔵]

## 戦国最大の名勝負川中島合戦

戦国史に残る名勝負と語り継がれる武田信玄、上杉謙信の「川中島合戦」は、12年間、5度にわたり繰り広げられた。最も激しい戦いとなったのが永禄4年の第4次川中島の合戦で、山本勘助の秘策「啄木鳥の戦法」が謙信に察知され、壮絶な戦いの中、武田典厩信繁はじめ多くの勇将が戦死した。世に名高い「信玄、謙信の一騎打ち」はこの時のこと。



川中島大合戦之図 [南アルプス白根桃源美術館所蔵]

# 政治



## 信玄の領国経営。

武田信玄は「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、あだは敵なり」の理念のもと領国経営にあたった。甲府盆地を水害から守り農産物の生産力を増大する「治水事業」、経済力強化のための「金山開発」、甲斐国の法律「甲州法度」の制定、産業振興のための道路政策、工業の発展や商業活性化のための施策、秤や枡などの度量衡と税制の統一など、徳川家康も模範とした領国経営手腕で甲斐国の基礎を築き、今なお山梨の人々から「信玄公」と慕われている。

## 甲斐の国の公共事業「信玄堤」

信玄は、たび重なる水害から領民を守るために、笛吹川、荒川などの治水を行ったが、代表的なものとして釜無川の「信玄堤」があげられる。信玄堤は、一般の堤防が一直線であるのに対して、何本もの堤防を重ねて洪水を防ぐ「霞堤」など、独特の工法が駆使されている。完成までに20年を費やしたという信玄堤の工法は後に「甲州流川除(かわよけ)」と呼ばれ、日本各地で用いられた。



信玄堤(甲斐市)

## 経済力の強化・軍事力の資金甲州金山

戦国大名にとって経済力の強化は必須条件であり、金山開発は、その重要な手段だった。信玄の開発した金山には、黒川山、丹波山、御座石などがあり、特に信玄の隠し金山といわれる黒川山は「黒川千軒」と称されるほどだった。甲州金は純度が高いブランド品で、発掘した金は金貨に鑄造され、信玄の財政基盤を支えた。

## 山梨中銀金融資料館



甲州金 [山梨中銀金融資料館所蔵]

甲州金など、古代から今日に至るまでの、様々な貨幣と金融に関する資料が展示されている(入館無料)。

住 山梨県甲府市中央2-11-12  
 ●開館時間 / 9時~17時 (入館は16時まで)  
 ●休館日 / 金・土曜、祝日、年末年始  
 TEL 055-223-3090  
 交 JR中央線「甲府駅」→徒歩15分  
 P 普通車

## 内政を治めた甲州法度

信玄が定めた「甲州法度」は甲斐国の法律で、57箇条からなり、その内容は軍事、司法、行政にわたって実に細かく定められている。法律は秩序の確立、家臣の統制を目的にしているが、末尾は「もし信玄自ら法度を犯すことがあれば、同様に裁かれる、その時は誰でも投書せよ」と結ばれ、信玄の精神性をうかがい知ることができる。

MAP

甲府駅南口に鎮座する信玄公像

永正一六年(一五一九)、信虎が躑躅ヶ崎に館を築き「甲斐府中」を定めたときから、武田三代、六十余年の歴史が刻まれた地。甲府周辺には、館跡に創建された武田神社、信玄誕生の地・積翠寺。武田親族の菩提寺「甲府五山」などがあり信玄公墓所には、川中島合戦の折りに持ち帰った「八房梅」が、今もその姿をとどめている。



1 武田神社 [躑躅ヶ崎館跡]



武田信虎・信玄・勝頼3代の居館跡に造営され、宝物殿には武田氏ゆかりの遺宝が所蔵。周囲の堀や土塁は往時の姿を伝える。国史跡。

住 甲府市古府中町2611
交 JR中央線「甲府駅」→バス10分
P 大型バス・普通車

2 要害城跡・積翠寺



躑躅ヶ崎館から北方2kmの地点に、信虎が築いた要害城跡がある丸山(国史跡)。その麓の積翠寺は信玄誕生の地といわれる。

住 甲府市上積翠寺町984
交 JR中央線「甲府駅」→バス15分 徒歩40分
P 普通車

3 金桜神社



金峰山信仰の里宮。日本三御岳の1つで山岳信仰の霊場として修験者の道場として栄え、武田氏の祈願所として保護をうけた。

住 甲府市御岳町2347
交 JR中央線「甲府駅」→バス60分
P 普通車

4 甲府城跡 [舞鶴城公園]



武田氏滅亡後、豊臣秀吉の命により築城が開始された。1727年の甲府大火で城内はほとんど焼失したが、現在は当時の姿を取り戻す作業により稲荷櫓等が復元した。

住 甲府市丸の内1
交 JR中央線「甲府駅」→徒歩3分
P 大型バス・身障者用

5 武田信玄公墓所



信玄の遺言により、その死を3年間秘匿し、この地で火葬分骨埋葬されたといわれる。墓所内には一つの花に八個の実を結ぶ珍木「八房梅」がある。

住 甲府市岩窪町
交 JR中央線「甲府駅」→バス10分→徒歩20分
P 普通車

6 甲斐善光寺



信玄は川中島の戦いが信濃善光寺に及ぶのを恐れ、本尊・諸仏などを甲府に移して創建。本堂は東日本有数の木造建造物で、国重文。

住 甲府市善光寺3-36-1
交 JR身延線「善光寺駅」→徒歩10分
P 大型バス・普通車

7 光照寺

武田信虎の加護を受け、隆盛をきわめた。武田家滅亡の際、焼失を逃れた薬師堂はその後現在の場所へ移った。室町時代後期の様式を残す。薬師堂は国重文。

住 甲斐市岩森1622-1
交 JR中央線「塩崎駅」→徒歩5分
P 普通車

8 入明寺

境内入口左に信玄の次男竜宝(信親)の墓がある。疱瘡のため失明、僧籍に入り、「お聖道様」とよばれ、民衆に親しまれていた。勝頼自刃を聞いて、この地で自害されたという。

住 甲府市住吉4-13-36
交 JR身延線「南甲府駅」→徒歩10分
P 普通車

9 大泉寺



信玄の父、信虎の菩提寺。信虎自身が建てた寺。武田3代の霊廟を始め、絹本墨画松梅図(国重文)など多くの寺宝を所蔵。

住 甲府市古府中町5015
交 JR中央線「甲府駅」→バス10分→徒歩10分
P 普通車

10 信玄堤



洪水の頻発地であった甲斐国にとって治水事業は、古代からの課題であり、信玄によって約20年の歳月と斬新な治水工法から完成された。

住 甲斐市竜王1989
交 JR中央線「竜王駅」→徒歩20分
P 普通車

甲府五山

五山というのは、「五山の制度」という印度の五精舎にならい、中国南宋末期に禅宗(臨済宗)の保護と統制のため格式高い五つの寺を定めたことに由来します。鎌倉や京都での五山は室町幕府の保護の濃い寺院が選ばれたといえます。

臨済宗に帰依し信仰心の篤かった信玄は、京都・鎌倉に倣って、甲州に五山を定め、甲州の古刹五山を城下に移し、何れも妙心寺派に改め、「御城附御祈願所五山」と呼び、現在の「甲府五山」となりました。武田氏親族の菩提寺となっています。

11 長禅寺 甲府五山



甲府五山の筆頭。信玄の母、大井夫人の菩提寺。夫人は南アルプス鮎沢の長禅寺(古長禅寺)に深く帰依していたことから、母の死後、甲府に移した。

住 甲府市愛宕町208
交 JR中央線「甲府駅」→徒歩15分
P 普通車

12 東光寺 甲府五山



信玄の長男義信、諏訪頼重の墓がある。庭園は池泉観賞式庭園で県名勝で、仏殿は中世禅宗様建築で国重文でもある。

住 甲府市東光寺3-7-37
交 JR身延線「善光寺駅」→徒歩15分
P 普通車

13 円光院 甲府五山



信玄の正室・三条夫人の菩提寺。信玄の寄進状、遺宝、夫人の葬儀法記録などが残されている。夫人は公卿三条公頼の娘。

住 甲府市岩窪町500-1
交 JR中央線「甲府駅」→バス5分→徒歩15分
P 大型バス・普通車

14 法泉寺 甲府五山



湯村山の山裾に立つ法泉寺は、夢窓疎石を開山とするお寺。境内には武田家中興の祖信武と最後の国主である勝頼の墓がある。

住 甲府市和田町2595
交 JR中央線「甲府駅」→バス10分→徒歩15分
P 普通車

15 能成寺 甲府五山



南北時代に笛吹市八代町に創建され、信玄により甲府市に移された寺。信玄の「制札」がのこる。また、芭蕉の句碑がある。

住 甲府市東光寺町2153
交 JR身延線「金手駅」→徒歩15分
P 普通車



新府城跡近郊から望むハヶ岳

甲斐源氏飛躍の地であり  
信濃攻略の勇壮な物語を刻みながら  
やがて武田家滅亡への序章となった栄枯盛衰の地。  
ハヶ岳山麓を直線に貫く「棒道」は  
騎馬軍団の轟きをよみがえらせ  
勝頼が七里岩に築いた新府城の城跡は  
滅亡へと向かう武田の悲劇を偲ぼせる。

### 1 棒道

信玄が作らせた軍用道路と伝えられている。甲州と信州を結ぶ最短の道でハヶ岳山麓を直線に貫くことから棒道という。道の脇にはところどころに石仏がみられる。

**住** 北杜市長坂町・小淵沢町  
**交** JR小海線「甲斐小泉駅」→徒歩20分  
**P** 普通車

### 2 三分一湧水

信玄が用水を3つの村に等しく配分するために設けたと言われている。水中に三角柱を差し流れを3方向に分配。現在も1日8,500トンの水が湧き、田畑を潤している。

**住** 北杜市長坂町小荒間292-1  
**交** JR小海線「甲斐小泉駅」→徒歩10分  
**P** 大型バス・普通車

### 3 小荒間古戦場跡

天文9(1540)年、信玄が信濃の村上義清と合戦、勝利したと伝えられる戦場。周辺には本陣を構えたとされる「中屋敷」跡や敵をうかがうために用いたと伝わる遠見石などがある。

**住** 北杜市長坂町小荒間1964  
**交** JR小海線「甲斐小泉駅」→徒歩3分  
**P** 普通車

### 4 小荒間番所跡

武田氏が設置したとされている。甲州に25ヶ所置かれた口留番所の1つ。警備には、小荒間村・白井沢村・松向村の3村が当たると言われる。

**住** 北杜市長坂町小荒間729  
**交** JR小海線「甲斐小泉駅」→徒歩10分  
**P** 普通車



### 5 清光寺

仁平元(1151)年、甲斐源氏の祖義光の菩提を弔うために創建され、当初は天台宗のお寺として高根町にあったが、後に甲斐源氏の館跡である現在地に移転し曹洞宗に改宗した。

**住** 北杜市長坂町大八田6600  
**交** JR中央線「長坂駅」→徒歩20分  
**P** 普通車

### 6 正覚寺

甲斐源氏の祖義光の菩提を弔うために創建され、当初は天台宗のお寺として高根町にあったが、後に甲斐源氏の館跡である現在地に移転し曹洞宗に改宗した。

**住** 北杜市須玉町若神子2739  
**交** JR中央線「韮崎駅」→バス25分→徒歩5分  
**P** 普通車

### 7 若神子城跡

甲斐源氏の祖義光が京の都から甲斐に移って初めて居館を構えたと伝えられ、現在、城跡は公園として整備されている。園内には情報手段として用いたのろし台が復元されている。

**住** 北杜市須玉町若神子3380-1  
**交** JR中央線「韮崎駅」→バス25分→徒歩10分  
**P** 普通車

### 8 古長禅寺

信玄の母大井夫人の菩提寺。夫人の没後、甲府に移転したため、こちらを古長禅寺と呼ぶ。庭園は夢窓国師の作。樹齢約700年の大ビャクシンは国指定天然記念物。

**住** 南アルプス市鮎沢505  
**交** JR中央線「甲府駅」→バス40分→徒歩10分  
**P** 普通車

### 9 新府城跡

武田勝頼が織田軍の甲斐侵攻に備え、勢力立て直しを図ろうと築いた城。しかし、情勢は悪化し、在城わずか60余日で、自ら火を放った。(国史跡)

**住** 韮崎市中田町中條  
**交** JR中央線「新府駅」→徒歩15分  
**P** 普通車

### 10 武田八幡宮

甲斐源氏の祖・新羅三郎義光の曾孫信義はこの地で居館を構え、姓を武田として武田八幡宮を氏神とした。本殿は信玄が天文10(1541)年に再建した。国重文。

**住** 韮崎市神山町北宮地1185  
**交** JR中央線「韮崎駅」→車15分  
**P** 普通車

### 11 願成寺

甲斐武田家の祖信義が平安時代末に中興開基した菩提所。本尊の阿弥陀三尊像は国重文。信義の墓と伝えられる五輪塔がある。

**住** 韮崎市神山町鍋山1111  
**交** JR中央線「韮崎駅」→車10分  
**P** 普通車

### 12 将棋頭・石積出し

信玄の治水工法。御勅使川に石積出し・将棋頭を築き、流れを変え釜無川の合流地点に大石を置いて水勢を弱める工夫をした。

**住** 南アルプス市有野  
**交** JR中央線「甲府駅」→バス40分→徒歩10分  
**P** 普通車

## 信玄ミニコラム

### ひと足伸ばして—甲府・昇仙峡エリアの武田神社周辺で巡る

### 武田二十四将屋敷跡を歩いてみませんか。

武田氏の居館、躑躅ヶ崎館を取り巻くようにあったといわれている武田二十四将の屋敷跡をたどってみませんか。屋敷跡の場所には、二十四将の略歴が記載された看板が設置されています。これは、「甲府略志」の「古府の図」をもとに推定されています。

(甲府・昇仙峡エリアにて地域が表記されています。)

「武田二十四将」とは、戦国時代、武田信玄率いる甲州軍団の中核をなした勇猛果敢な武将たち24人のことです。しかし、実際にはこの24人に固定されていたわけではなく、江戸時代中期の軍記物などによって庶民の人気を背景にして選ばれたといわれています。

※「鬼美濃」と異名をもつ猛将、原虎胤の屋敷跡は確認がとれていません。 ●=看板設置場所

# くだもの ワインの里

エリア

MAP

笛吹川と万力林

桃、ぶどうなどのフルーツや  
ワインで知られる山梨県東地域周辺は  
武田家の栄光と一族滅亡の地。  
信玄が快川国師に深く帰依した恵林寺、  
勝頼が自刃し、一族滅亡の地となった  
景德院は歴史の面影を今に伝え、  
菅田天神社、雲峰寺、栖雲寺など  
武田家ゆかりの品々を所蔵する寺院も多い。

## 1 恵林寺



信玄の菩提寺。庭園は夢窓疎石が  
築庭した池泉回遊式庭園で国名勝。  
宝物館では武田氏ゆかりの文化財  
約100点を所蔵。

住 甲州市塩山小屋敷2280  
交 JR中央線「塩山駅」→バス13分  
P 普通車

## 2 雲峰寺



天平17(745)年に行基が開いた。  
一度焼失したが信虎によって再建。  
宝物館では、風林火山で有名な孫  
子の旗や日本最古の日の丸御旗など  
数々所蔵。

住 甲州市塩山上萩原2678  
交 JR中央線「塩山駅」→バス15分→徒歩5分  
P 普通車

## 3 放光寺



甲斐源氏の武将安田義定により  
建立。安田氏の菩提寺。仁王門に  
ある国重文の木造金剛力士像と  
ともに、宝物殿には国重文のもの  
が所蔵されている。

住 甲州市塩山藤木2438  
交 JR中央線「塩山駅」→バス15分  
P 普通車

## 4 向嶽寺



臨済宗向嶽派の本山。守護武田  
信成が抜隊得勝を招いて塩山向  
嶽庵として建立。塩ノ山を借景に  
した庭園は国名勝。

住 甲州市塩山上於曾2026  
交 JR中央線「塩山駅」→バス5分  
P 普通車

## 5 菅田天神社



甲斐源氏武田氏の守護神。武田  
氏の重宝とされる小桜韋威鎧兜・  
大袖付(国宝)がある。甲府の鬼  
門にあたる当社に鬼門鎮護のため  
造られた。

住 甲州市塩山上於曾1054  
交 JR中央線「塩山駅」→徒歩10分  
P 普通車

## 6 大善寺



県内最古の和様建築物で内陣の  
厨子とともに国宝。山門、池泉観  
賞式蓬莱庭園も一見に値する。  
毎年、5月8日の「藤切り祭り」が  
有名。

住 甲州市勝沼町勝沼3559  
交 JR中央線「勝沼ぶどう郷駅」→徒歩40分  
P 普通車

## 7 大井俣窪八幡神社



武田氏代々の氏神として崇拝され  
た。木造の鳥居は日本最古のもの。  
本殿は日本最大の流造本殿など国  
重文の宝庫。貞観元(859)年、大  
井俣に祀られ、現在の地に移された。

住 山梨市北654  
交 JR中央線「山梨市駅」→車5分  
P 普通車

## 8 永昌院



盆地東部を一望できる高所にあり、  
武田信昌開基の古刹。信昌は武田家  
発展の基礎を築いた人。銅鐘は勝頼  
が合戦で打ち鳴らしたという伝えが  
あり「甲斐の五鐘」の一つ。(県文化)

住 山梨市矢坪1088  
交 JR中央線「山梨市駅」→車20分  
P 普通車

## 9 浅間神社



甲斐国一の宮。信玄が奉納した  
と伝えられる後奈良天皇の紺紙  
金泥般若心経は国重文。川除け  
神事として行われる大御幸祭  
りあり「甲斐の五鐘」の一つ。(県文化)

住 笛吹市一宮町一ノ宮1684  
交 JR中央線「山梨市駅」→車15分  
P 普通車

## 10 清白寺



足利尊氏が夢窓疎石を開山とし  
て創建。仏殿は国宝で禅様建  
築の代表的遺構。井戸は諏訪湖  
に通じていると伝えられ、参道は  
小梅の古木が並ぶ。

住 山梨市三ヶ所620  
交 JR中央線「東山梨駅」→徒歩6分  
P 普通車

## 11 栖雲寺



中世禅文化の宝庫。武田氏の菩  
提寺の一つで信満の墓がある。  
銅鐘は県文化財で「甲斐の五鐘」  
の一つ。「そば切り」発祥の地。

住 甲州市大和町木賊122  
交 JR中央線「甲斐大和駅」→車15分  
P 普通車

## 12 景德院



武田勝頼が織田軍に追いつめら  
れ、この地で自刃した。勝頼と夫  
人、嫡男信勝の墓がある。徳川  
家康が勝頼主従の菩提を弔うた  
めに建立。

住 甲州市大和町田野389  
交 JR中央線「甲斐大和駅」→徒歩30分  
P 普通車

## 14 福光園寺

三枝氏・橋氏・武田氏から篤い  
信仰を受けた。宝物殿の木造吉祥天坐像、二天  
像は国重文。観音堂の香王観音  
像は行基作と伝わる。

住 笛吹市御坂町大野寺2027  
交 JR中央線「石和温泉駅」→車20分  
P 普通車

## 15 慈眼寺

真言宗智山派の名刹。武田氏の  
祈願所。織田信長軍の兵火によ  
って焼失したが、宥真上人によ  
って再建。鐘楼門、庫裏等は国重文。

住 笛吹市一宮町末木336  
交 JR中央線「山梨市駅」→車15分  
P 普通車

## 16 称願寺

正応5(1292)年真教上人が開  
創した県内最古の時宗寺院。国  
重文の木造他阿真教上人坐像が  
ある。また樹齢500年の「ショ  
ウガンザクラ」は県指定天然記  
念物。

住 笛吹市御坂町上黒駒2969  
交 JR中央線「石和駅」→車25分  
P 普通車

## 13 山梨岡神社



山梨県名の発祥ともいわれる古社  
の本殿は国重文。信玄は出陣の度、  
この神社で戦勝祈願を行った。「太々  
神楽」は県指定の無形文化財。

住 笛吹市春日居町鎮目1696  
交 JR中央線「石和温泉駅」→徒歩20分  
P 普通車

## 17 吉祥寺

甲斐源氏新羅三郎義光のお手植  
えといわれる「新羅桜」が境内に  
ある。

住 山梨市三富徳和2  
交 JR中央線「塩山駅」→バス40分  
P 普通車

## 18 天神社

本殿は国重文。一間社流造りの  
本殿は武田信虎が再建したもの。

住 山梨市大工1563  
交 JR中央線「山梨市駅」→車15分  
P 普通車

## 19 万力林

かつて笛吹川の水難所であった  
この地に、洪水から守ろうとした  
祖先たちが植林して、万力の自然  
林を育てた。

住 山梨市万力  
交 JR中央線「山梨市駅」→徒歩3分  
P 普通車

## 20 勝沼氏館跡

信虎の弟、信友を祖とする勝沼氏  
の館跡。国史跡。「勝沼」の地名  
のおこり。館跡は歴史公園になっ  
ている。

住 甲州市勝沼町勝沼2515-1  
交 JR中央線「勝沼ぶどう郷駅」→  
徒歩35分

# 富士川流域

- エリア
- 身延町●南部町
  - 早川町●市川三郷町
  - 富士川町(増穂町・鯉沢町)



### 6 下部温泉郷

信玄の隠し湯。骨折や打ち身、切り傷に効能があり、信玄も川中島の戦いでうけた傷を癒した。下部川の渓流沿いの温泉街。

**住** 身延町下部

**交** JR身延線「下部温泉駅」下車

**P** 大型バス・普通車

### 7 甲斐黄金村 湯之奥金山博物館

信玄の強力な軍勢力を支えた金は、甲州金山から産出された。湯之奥中山金山は国史跡。博物館には出土した遺物が展示され、砂金掘りなどの体験学習も可能。

**住** 身延町上之平1787

**交** JR身延線「下部温泉駅」→徒歩3分

**P** 大型バス・普通車

### 8 甲斐源氏旧跡

熊野神社の境内地にある源義清の館跡(平塩岡)には、甲斐源氏旧跡碑がある。義清は甲斐源氏の祖新羅三郎義光の子。

**住** 市川三郷町市川大門5154

**交** JR身延線「市川大門駅」→徒歩10分

**P** 普通車

### 3 大聖寺

新羅三郎義光が開基。本尊の不動明王は弘法大師の作といわれ、義光の曾孫加賀美遠光が高倉天皇から下賜された。国重文。

**住** 身延町八日市場539

**交** JR身延線「甲斐岩間駅」→車15分

**P** 普通車

### 4 円蔵院

穴山信友の菩提寺。絹本着色穴山信友画像と絹本着色仏涅槃図がある。ともに県文化。武田・穴山・徳川氏らの支配文書も多く所蔵。

**住** 南部町南部7576

**交** JR身延線「内船駅」→徒歩15分

**P** 普通車

### 5 最恩寺

穴山信君の嫡男・勝千代の菩提寺。室町初期の禅宗様仏殿(二階堂)は、国重文。また県の文化財「穴山勝千代画像」も所蔵されている。

**住** 南部町福士23502

**交** JR身延線「井田駅」→車10分

**P** 普通車

### 1 南松院

穴山信友夫人、信玄の姉の菩提寺。絹本着色穴山信友夫人像(県文化)所蔵。庭園の亀石は夫人が信虎から譲られたものといわれている。

**住** 身延町下山3221

**交** JR身延線「身延駅」→バス20分→徒歩25分

**P** 普通車

### 2 身延山久遠寺

日蓮宗総本山。日蓮大聖人は「法華経」を説き、「立正安国論」をまとめた。信徒の甲斐源氏一族南部光行の子、波木井実長のすすめで1274年に身延山に入山した。

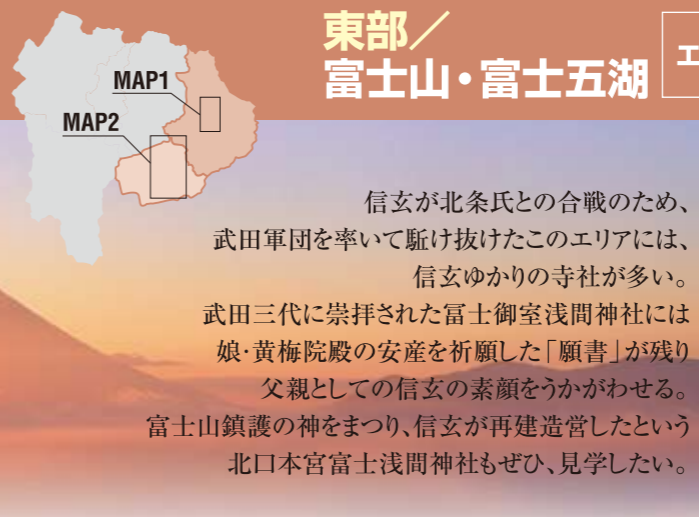
**住** 身延町身延3567

**交** JR身延線「身延駅」→バス15分→徒歩10分

**P** 大型バス・普通車

# 東部 富士山・富士五湖

- エリア
- 大月市●都留市●上野原市●丹波山村●小菅村●道志村
  - 富士河口湖町●富士吉田市
  - 鳴沢村●山中湖村●忍野村●西桂町



### 9 北口本宮富士浅間神社

富士の噴火を恐れる民衆の心を鎮めるため建立されたとされる神社。国重要文化財の東宮本殿は、武田信玄が再建造営したと言われている。吉田口登山道はここが起点。

**住** 富士吉田市上吉田5558

**交** 富士急行線「富士吉田駅」→バス15分

**P** 大型バス・普通車

### 13 富士吉田市歴史民俗博物館

「富士山信仰と御師文化」「郡内織物」等の資料を展示し、富士山と共に歩んできた富士吉田の歴史と文化が学べる。

**住** 富士吉田市上吉田2288-1

**交** 富士急行線「富士吉田駅」→バス20分

**P** 大型バス・普通車

### 12 勝山城跡

標高571mの山城。浅野氏重が文禄3(1594)年に築城されたものといわれている。また、幕府御献上用のお茶を保管する「お茶壺蔵」があったとされる。

**住** 都留市川棚字城山922

**交** 富士急行線「谷村町駅」→徒歩30分

### 15 山中諏訪神社

武田信玄が天文21(1552)年に北条氏との合戦に際し「御加護を請い奉らん」と戦勝を祈願。本殿はこの時、造営・奇進された。

**住** 山中湖村山中御所13

**交** 富士急行線「富士吉田駅」→バス35分→徒歩10分

**P** 普通車

### 11 猿橋

日本三奇橋のひとつ。国名勝。断崖で橋脚が立てられないため両岸から4層に迫り出したはね木を設け、橋を支える「肘木桁式橋」。歌川広重の版画にも描かれている。

**住** 大月市猿橋町猿橋

**交** JR中央線「猿橋駅」→徒歩20分

**P** 大型バス・普通車

### 14 富士御室浅間神社

文武天皇3(699)年の創建。武田・小山田・秋元氏の祈願所。信玄の娘、黄梅院殿のためにかけた信玄自筆の安産祈願文(2通)、戦国時代の日記「勝山記」(県文化財)など。

**住** 富士河口湖町勝山3951

**交** 富士急行線「河口湖駅」→バス10分

**P** 普通車

### 10 岩殿城跡

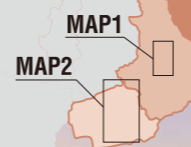
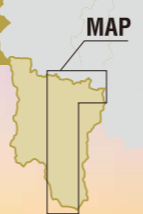
戦国時代、甲斐国都留郡防御の要害、通信基地。武田氏・小山田氏の兵が在番した。織田軍に攻められた勝頼の入城を小山田が拒んだため武田氏は滅亡した。

**住** 大月市賑岡町

**交** JR中央線「大月駅」→徒歩60分

**P** 普通車

信玄が北条氏との合戦のため、武田軍団を率いて駆け抜けたこのエリアには、信玄ゆかりの寺社が多い。武田三代に崇拝された富士御室浅間神社には娘・黄梅院殿の安産を祈願した「願書」が残り父親としての信玄の素顔をうかがわせる。富士山鎮護の神をまつり、信玄が再建造営したという北口本宮富士浅間神社もぜひ、見学したい。



**清里・葦崎・南アルプスエリア**

- 北杜市
- 葦崎市
- 南アルプス市

**甲府・昇仙峡エリア**

- 甲府市●甲斐市●中央市●昭和町

**くだものとワインの里エリア**

- 山梨市●甲州市●笛吹市

**東部エリア**

- 大月市
- 都留市
- 上野原市
- 丹波山村
- 小菅村
- 道志村

**富士川流域エリア**

- 身延町
  - 南部町
  - 早川町
  - 市川三郷町
  - 富士川町
- (増穂町・鐵沢町)  
 ※平成22年3月8日  
 増穂町と鐵沢町は合併して「富士川町」になります。

**富士山・富士五湖エリア**

- 富士河口湖町
- 富士吉田市
- 鳴沢村
- 山中湖村
- 忍野村
- 西桂町



**交通のご案内**

**ACCESS**

**電車でお越しの場合**

新宿駅	— JR中央本線・特急 / 1時間30分 —	甲府駅
松本駅	— JR中央本線・特急 / 1時間10分 —	甲府駅
静岡駅	— JR身延線・特急 / 2時間20分 —	甲府駅

**お車でお越しの場合**

調布IC	— 中央自動車道 / 1時間20分 —	甲府昭和IC
名古屋IC	— 中央自動車道 / 3時間 —	甲府昭和IC
静岡市方面	— 国道52号線 1時間30分 / 中部横断自動車道・中央自動車道 30分 —	甲府昭和IC
御殿場方面	— 国道138号線 30分 / 東富士五湖道路・中央自動車道(大月JCT経由) 1時間 —	甲府昭和IC



五感で山梨の魅力体験。

**山梨県立博物館 かいじあむ**

山梨の風土と歴史を知ることのできる博物館。県内各地の自然・文化遺産、文化施設とのネットワーク。様々な人々が参加し、出会い、楽しみながら学ぶことができる「人・モノ・情報」が交流する博物館です。



住所	笛吹市御坂町成田1501-1
開館時間	9:00~17:00 (入館は16:30まで)
休館日	火曜日(祝日の場合は開館、翌日が休館) 祝日の翌日(土曜日が祝日の場合、日曜日は開館)
常設展	一般500円(20人以上の団体は400円)、 高校生・大学生210円(同160円)、 小・中学生100円(同80円)

**観光のお問い合わせは**

**富士の国やまなし観光ネット**

<http://www.yamanashi-kankou.jp/>

(社)やまなし観光推進機構 TEL.055-231-2722  
 山梨県甲府市丸の内1-8-17 山梨県庁西別館1階

山梨県観光振興課 TEL.055-223-1557  
 山梨県甲府市丸の内1-6-1

富士の国やまなし館 TEL.03-3241-3776  
 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル1階

中央線沿線案内センター TEL.03-3341-0295  
 東京都新宿区新宿3-38-1 JR新宿駅東口1階

山梨県大坂事務所 TEL.06-6344-5961  
 大阪府大阪市北区梅田1-1 大坂駅前第3ビル21階

山梨県立富士ビジターセンター TEL.0555-72-0259  
 山梨県南都留郡富士河口湖町船津6663-1

